

2021年9月期全塾協議会定例会議事録

2023年10月15日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2021年9月26日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職役名ならびに条数は議会当時のものである。

議事概要記録

名称	2021年9月期全塾協議会定例会
場所	オンライン (Webex)
日時	2021年9月26日 18:30~21:14

出席者

	塾生代表	山田健太
上部団体	芝学友会 会長	横山さくら
	全国慶應学生会連盟常任委員会 常任委員長	吉田凌太
	全塾ゼミナール委員会 委員長	増間やよい
	体育会本部 主幹代理	藤川友利
	福利厚生機関本部 代表代理	小畑采花
	文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長	松尾和真
	四谷自治会 会長	藤村悠哉
	全塾協議会事務局 事務局長	岩館則明
	全塾協議会事務局より他 11名	
以下議案提出者	法学部法律学科ゼミナール委員会 旧委員長	上村太郎
	矢上祭実行委員会 財務	相原茉依
	慶早戦支援委員会 財務責任者	遠藤耕太
	秋祭実行委員会 財務責任者	藤掛寛
	應援指導部 代表	小畑采花
	應援指導部 財務	坂本雄紀
	應援指導部 定演会計	江下葵
	應援指導部	中村剛太
	卒業アルバム委員会 委員長	青木満智子
	卒業アルバム委員会 財務	相良葉子
	卒業アルバム委員会 総務局	尾越桜

次第

項目	担当・議案提出者
1. 開会宣言	事務局長 岩館則明
2. 塾生代表挨拶	塾生代表 山田健太

項目	担当・議案提出者
3. 定足数確認	議事部 在原拓哉
4. 配布資料の確認	
5. 議事録作成報告	
6. 議長の指名	
7. 議題	
(1) 塾生代表報告 [20210926-01-JSD]	塾生代表 山田健太
(2) 事務局報告 [20210926-02-JMK]	
i. 議事部報告	議事部長 在原拓哉
ii. 広報部報告	広報部長 堤悠真
iii. 財務部報告	財務部長 関田大輝
iv. 総務政策部報告	総務政策部長 清瀬竜世
v. 局長報告	事務局長 岩館則明
(3) 四谷自治会の交代報告 [20210926-03-YJK]	四谷自治会 旧会長 保住英希
(4) 法学部法律学科ゼミナール委員会の交代報告 [20210926-04-HHZ]	法学部法律学科ゼミナール委員会 旧委員長 上村太郎
(5) オリエンテーション実行委員会の交代報告 [20210926-05-OR]	オリエンテーション実行委員会 旧委員長 遠國竜佑
(6) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20210926-06-YGM]	矢上祭実行委員会 財務 相原茉依
(7) 慶早戦支援委員会の交付金特別支出承認申請 [20210926-07-KSI]	慶早戦支援委員会 財務責任者 遠藤耕太
(8) 秋祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20210926-08-AKM]	秋祭実行委員会 財務責任者 藤掛寛
(9) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請 [20210926-09-OES]	應援指導部 財務 坂本雄紀
(10) 應援指導部の交付金特別支出承認申請 [20210926-10-OES]	
(11) 應援指導部の活動報告 [20210926-11-OES]	應援指導部 中村剛太
(12) 芝学友会の芝学友会組織体制見直しに関する報告 [20210926-12-SGK]	芝学友会 会長 横山さくら
(13) 文化団体連盟本部の所属団体処分移転資金についての議案 [20210926-13-BRH]	文化団体連盟本部三田本部常任委員会委員長 松尾和真

項目	担当・議案提出者
(14) 選挙管理委員会の委員の任命に関する議案 [20210926-14-OTR]	議員 横山さくら
(15) 選挙管理委員会の監査役の任命に関する議案 [20210926-15-OTR]	
(16) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案 [20210926-16-JMK]	事務局長 岩館則明
(17) 塾生代表の2021年度全塾協議会予算 [20210926-17-JSD]	塾生代表 山田健太
(18) 塾生代表の全塾協議会の基本政策に関する議案 [20210926-18-JSD]	
(19) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案 [20210926-19-JMK]	処分審査会 会長 増馬やよい
8. 連絡事項	事務局長 岩館則明
9. 閉会宣言	事務局長 岩館則明

議決事項

議案識別子	提出者	議事名	可否
20210926-01-JSD	塾生代表	業務報告	採決なし
20210926-02-JMK	全塾協議会事務局	業務報告	採決なし
20210926-03-YJK	四谷自治会	交代報告	採決なし
20210926-04-HHZ	法律学部法律学科ゼミナール委員会	交代報告	採決なし
20210926-05-ORJ	オリエンテーション実行委員会	交代報告	取り下げ
20210926-06-YGM	矢上祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決(修正)
20210926-07-KSI	慶早戦支援委員会	交付金特別支出承認申請	可決
20210926-08-AKM	秋祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20210926-09-OES	應援指導部	独自財源特別支出承認申請	可決
20210926-10-OES	應援指導部	交付金特別支出承認申請	可決
20210926-11-OES	應援指導部	活動報告	採決なし
20210926-12-SGK	芝学友会	組織体制見直しに関する報告	採決なし
20210926-13-BRH	文化団体連盟本部	所属団体処分移転資金についての議案	可決
20210926-14-OTR	議員 横山さくら	選挙管理委員会の委員の任命に関する議案	可決
20210926-15-OTR	議員 横山さくら	選挙管理委員会の監査役の任命に関する議案	可決
20210926-16-JMK	全塾協議会事務局	所属団体に関する議案	可決
20210926-17-JSD	塾生代表	2021 年度全塾協議会予算	可決
20210926-18-JSD	塾生代表	全塾協議会の基本政策に関する議案	採決なし
20210926-19-JMK	全塾協議会事務局	処分審査会の処分内容に関する決議	可決

2023 年 10 月 15 日 議事録作成(役職役名ならびに条数は議会当時のものである。)

全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明 (署名) 全塾協議会規約第 22 条に基づき、事務局長の署名は省略する。

この議事録が正確であることを証する。

塾生代表 山田健太 (署名) **山田 健太**

全塾協議会 議長

横山さくら

(署名)

2024年1月29日付で議事録を真正なものであると確認した。

議事詳細記録

1. 開会宣言

事務局長 岩館則明が開会を宣言した。

2. 塾生代表挨拶

塾生代表 山田健太が挨拶を行った。

3. 定足数確認

議事部 在原拓哉による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。

4. 配布資料の確認

議事部長 在原拓哉が、既に配布された資料の確認を行なった。

5. 議事録作成報告

議事部 在原拓哉は、全塾協議会規約 第10条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致で芝学友会代表 横山さくらが議長に選任された。

6. 議長の指名

議事部 在原拓哉は、夏休み中に全塾協議会事務局の新入局員に対し、議事録説明会を開いて議事録の作成方法を行ったと述べた。また、2021年5月の議事録作成完了、2018年5月臨時会、7月定例会、8月定例会の議事録チェックが終了していることを述べ、今年度中に作成できていない議事録チェックを全て終了させることを目標としていることを報告した。

7. 議事

(1) 塾生代表からの業務報告

2021年9月16日～18日にリーダーズキャンプを実施し、現在は全団体に向け塾生代表所見を作成中であり、その時に正式な額を通知する旨を伝えた。また、各団体と連携し事業を進めている旨、直近では2020入学式のつどいに映像で参加したこと、体育会本部とのつながりを生かしたオリンピック選手を祝う会に出席したことを報告した。

應援指導部に関しては、学生部や部長とやりとりを行っている最中であり、今後の方針を示せる段階ではないと述べた。

(2) 事務局からの業務報告

i. 議事部報告

議事部は、定例会準備、式次第作成、日程調整、交代関連・議案提出関連のメール対応を行っている

旨を報告した。また現在登記書類が提出されている団体の登記書類の回収、名簿メーリングリストの更新はすべて終了していることを報告した。決議書回収に関しても、8月期定例会までの決議書は全て回収済みである旨を報告した。

ii. 広報部報告

広報部は、Webサイト更新、リーダーズキャンプの前室作業、SNSを中心としたリーダーズキャンプ関連広報を行った旨を報告した。ポスター発注作業に関して、現在は出荷待ちであることを述べた。また湘南自治会とのあいさつ運動日程を10/9に調整をしている旨を伝えた。

iii. 財務部報告

財務部は、決算書類、予算書類の回収、一次監査報告書の回収、予算折衝の参加、リーダーズキャンプの準備と参加、事務局予算の修正を行ったことを報告した。また2021年度予算交付額通知作成、12月の財務講習会に向けた財務管理の手引き改訂作業を行っている旨を報告した。交付額（交付額とその推移等）公開スライドは10月中旬公開を目的にして作成中である旨を報告した。

iv. 総務政策部報告

総務政策部は、新入局員の統括、事務局内紙媒体資料の回収、事務局保有の情報整理、事務局内備品管理、各団体との面談への参加を報告した。また、医学部スチューデントアンバサダーと協力した新型コロナワクチン情報サイトの作成、各キャンパスの部室や教室の開放状況調査、卒業アルバム委員会の報告書作成をしている旨を報告した。

v. 事務局長報告

通常業務に加え、二次監査、リーダーズキャンプに参加し、司会を務めたことを報告した。

(3) 四谷自治会の交代報告

四谷自治会の会長が保住英希から、藤村悠哉に交代した。藤村悠哉から、2021年9月より就任する旨、信濃町をとりまとめる団体、そして上部団体の議員として職務を全うする旨が伝えられた。事務局 関田から、財務責任者も前会長 保住英希から藤村氏に交代したか質問があり、藤村はその通り交代したと述べた。

(4) 法学部法律学科ゼミナール委員会の交代報告

法学部法律学科ゼミナール委員会の委員長が上村太郎から、飯沼桜介に交代した。また、同委員会財務が高畠慧人から渡辺悠太に交代した。財務 渡辺は、委員長 飯沼が討論会のリハーサルのため欠席である旨を報告した。

(5) 應援指導部の交代報告

担当者不在につき、議案は取り下げられた。

(6) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

矢上祭実行委員会 相原茉依より独自財源特別支出承認申請が、以下の通り上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥80,186	事後	電車代、レンタカー代	企画撮影場所への移動のため	2021年9月
2	¥42,175	事後	飲食物代	企画撮影のため	2021年8月後半
3	¥9,507	事後	寄贈品代	外部団体へのお礼のため	2021年9月

塾生代表 山田は担当者に矢上祭実施の労いの言葉があった。その後、本項の飲食系の内容に関して企画したものすべて公開済みであるか質問があった。担当者は YouTube で公開済みである旨を伝えた。

続いて、山田より交通費の申請の区分け・基準について質問があった。担当者は、企画作成場所への移動は支出、材料の買い出しは店の場所指定ができないため支出なしである旨を報告した。山田はこの回答に関し、企画作成場所への移動は日吉から各自の家を指すのか質問がなされた。担当者は、行きは家一日吉、帰りは日吉一各自の家または撮影場所であると報告した。

次に、事務局 関田より合計額は正確か質問がなされたが、担当者は詳細訂正を忘れてしていると伝えた。塾生代表 山田健太は本審議を後に変更し、後で再審議を行う旨、また訂正確認後、定例会のチャットで報告するよう担当者に伝えた。

しばらくして、担当者と事務局より一部に誤りがあり、正しくは42,175円となる旨が伝えられた。全塾協議会は修正案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(7) 慶早戦支援委員会の交付金特別支出承認申請

慶早戦支援委員会財務 遠藤耕太より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥3,000	事前	タオル・色紙・旗代	野球慶早戦販売促進企画の景品として使用するため	2021年10月上旬
2	¥2,700	事前	郵便代	上記景品を当選者に郵送するため	2021年10月上旬

担当者は、慶早戦に向けて、Instagram、Twitterなどを利用した広報企画を行っており、リアクションをしてくださった方を対象にプレゼント企画を行う旨を伝えた。以前は当選者にキャンパスまで来ていただき、プレゼントを渡していたが、コロナ禍であるため、郵送費を含めて申請を行うこと、この企画を通じて慶應の文化を発信していくことが利益につながる旨を報告した。

塾生代表 山田はこれらの企画は今後 Twitter などを通して実施予定であるか質問した。担当者はそうであると回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(8) 秋祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

秋祭実行委員会財務 藤掛寛より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
--	------	------	----	------	------

1	¥80,000	事前	企画依頼代	実行委員企画のコンテンツ作成を外部団体に依頼するため	2021年10月後半
2	¥204,600	事前	パーカー代	実行委員ユニフォーム兼記念品作成のため	2021年9月末
3	¥5,456	事前	イラレ代	動画素材作成のため	2021年9月末~10月
4	¥32,000	事前	クラファンリターン代	クラファンのリターンとして、クラファンでお金を集めるため	2021年10月後半

塾生代表 山田は、クラウドファンディングとは別として①謎解きはどこに依頼しており、金額の根拠はどこにあるか、②に関しては問題なし、③はコンプリートプランを全体で所有しているのにもかかわらず申請するのはなぜなのか、質問がなされた。担当者は①に関して、謎解きを依頼している団体はSFCに所属しているインターカレッジサークルのようなものであること、依頼費用の相場が分からないため経費を概算した旨を報告した。また③の Abode Illustrator に関しては、前回分は年間契約を共有ではなく、もともと契約している人で一定程度 Abode Illustrator を使用してもらった場合に補助として出してもらった金額であるという旨を報告し、今回は別のものを申請していると述べた。

山田は、Adobe Creative Cloud に関して、今回は仕方ないが、今後は団体のアカウントを作成して購入する形式をとること、その形式の方が申請が適切になされる旨を伝えた。担当者は、その内容を了承したが、学割を適用させるためには個人アカウントが必要である可能性もあるため、確認次第報告する旨を伝えた。山田はこれに対し、認証だけでも学校アカウントを使えば学割の適用が可能であり、何かしらの手段を講じることは可能であろうと伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認したが、企画依頼費の8万円に関してはキャンセル料などのトラブルの元になりかねない為、契約書などを作る旨、悩んだ際は事務局へ報告するよう伝えた。

(9) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請

應援指導部財務 坂本雄紀より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥5,000	事前	飲料水代	東京六大学野球秋季リーグ戦にて使用する予備水代として	2021年9~11月
2	¥2,220	事後	飲料水代	東京六大学野球秋季リーグ戦にて使用する予備水代として	2021年9月

担当者は②が事後申請となったことを報告した。

塾生代表 山田は、①の東京六大学野球秋季リーグ戦で使用する水 25 本に関して、余った場合どのように処置を行うか質問した。担当者は余らないように購入しており、次の試合などで数を調整している旨を伝えた。

続いて②に関して、應援指導部定演会計 江下より、贈答品費としてクリアファイル代を申請した旨が報告された。今年度の協賛企業は40社であり、クリアファイルの枚数を10枚にした旨が報告された。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。山田は最後に「変わりやすい天気で大変だが応援を頑張してほしい」と激励した。

(10) 應援指導部の交付金特別支出承認申請

應援指導部財務 坂本雄紀より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥5,500	事後	駐車場保管場所使用 承証明書 発行手数料	部所有の器材車の駐車場保管場 所使用承証明書 発行手数料として	2021年8月

担当者は機材車の名義人が変更されたことにより、他の管理場所が必要になった旨を報告した。塾生代表 山田は、想定以上の金額であることを伝えた上で、名義人が卒部生であること、名義人は駐車場の半径2km圏内に住んでいないとしないことから、もし名義人が不在の場合はどうのように対応するか質問した。担当者は、應援指導部は部員が多数所属していることから、対応は可能である旨を伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(11) 應援指導部の活動報告

應援指導部 中村剛太より應援指導部の活動報告がなされた。活動内容は以下の通りである。

- ・チアリーディング部、吹奏楽団ともに対面練習を再開。東京六大学野球秋季リーグ戦など、依頼を受けた體育會各部の試合で応援活動実施
- ・執行部会（毎月の決定事項の整理）実施
- ・定例会（全部員の意見の吸収及び議決に対する賛否を問う会）実施
- ・役員会（定例会などで決定された事項をコーチ・部長へ報告する会）実施

担当者は、以前と同様に、申請をしたうえでアメフトやサッカーなどの対面練習を行った旨を報告した。執行部会、定例会、役員会についても意思決定プロセスをしっかりと踏んだ旨を伝えた。塾生代表 山田は、春と秋で応援の状況はどう変化したか質問した。担当者は、規則は変更がないこと、他大学の応援団でクラスターがあったため、安全第一で活動している旨を報告した。山田は、特に春と秋で早慶戦・慶早戦では変わらないことを確認し、報告の謝意を伝えた。

(12) 芝学友会の芝学友会組織体制見直しに関する報告

芝学友会会長 横山さくらより芝学友会組織体制見直しに関する報告がなされた。概要は以下の通りである。

- ・芝学友会は現在、全塾協議会の交付金を倶楽部連盟委員会へ一括で振り込み、倶楽部連盟委員会がその資金を所属団体へ分配している。しかし、リーダーズキャンプにて、事務局から管理体制を指摘され、改善案を提出するに至った。今後は芝学友会の口座から直接所属団体の口座へ資金を振り込むことで、現状の体制に因る資金分配の不透明性を解消する。
- ・現状、芝共立祭実行委員会は芝学友会と独立した組織であるのか、別団体であるのかが明瞭でな

く、諸問題が発生した時の責任の所在が曖昧なままである。しかし、今後は、芝共立祭実行委員会を芝学友会内の一委員会として完全に併合する（ただし、口座は別で管理する）。

担当者は、芝学友会の組織体制と財務の体制が問題（倶楽部連盟委員会は、倶楽部連盟委員会名義の口座を通して交付金を分配していた）で不透明という 2 点をリーダーズキャンプにて指摘された旨を報告した。その指摘を受け、確認は監査でできるが、手間なので、財務、芝学友会会長 横山と倶楽部連盟委員会の委員長と会議し、資金分配の問題を解消する旨が決定されたことを報告した。倶楽部連盟委員会からの分配をなくしていく旨は、芝学友会傘下団体にもヒアリングしてなくしていくと伝えた。また、芝共立祭実行委員会は、独立なのか担当者自身も不明であると報告した。そのため、三田祭実行委員会や應援指導部を参考にし、芝共立祭実行委員会を芝学友会内の一委員会として完全に併合し、別会計にする旨を報告した。現在、芝共立祭実行委員会の方が人数が多いため、また次期幹部も決定していないため、団体の趣旨が学園祭の開催にならぬよう慎重に動いていきたいと伝えた。

塾生代表 山田はその内容で良いと伝えた。

事務局長 岩館は、倶楽部連盟委員会について、どのような組織にしていくかは決定していないということだったのでよいが、芝共立祭実行委員会は傘下団体としてではなく、交付金の中で全協から支出ではよいのではないかと質問した。横山は、団体として財務が緩慢であるのも問題なので、別会計が適切であろうと回答した。

岩館は、もう少し相談をしなければならない。芝共立祭実行委員会と芝学友会で独立で使うとなると、芝学友会のみで申請なのか、芝学友会と芝共立祭実行委員会で別で申請になるのか質問した。

横山は、現時点で決まっていなとし、保護者会もあり、様々な内容があるため、どちらが良いのか協議したいと答えた。

それに対し、岩館は、芝学友会と芝共立祭実行委員会の棲み分けがきちんとなされてないので、監査がきちんとなされてないとの批判がある旨を伝え、併合することで芝学友会は監査がしにくい可能性があるが、監査役を別で設けるなどの予定はあるか質問した。

横山は、現在は上部団体の一員として自覚が足りない部分があるので、考え中であると述べた。

岩館は、併合することは問題ないが、祭事は多額の資金が動くので、決算の提出前に学友会の監査人がチェックするなどのことが必要であると述べた。横山は、この内容に関しても問題点が多くあるので、相談していく旨を述べた。

ここで山田が、今回は組織体制の問題をクリアにしてくのが趣旨であること、事務局長も批判ではなく問題点の提示をしたことを述べた。いかによりよい制度にするかステップアップが必要であり、適宜定例会へ報告しながら、枠組みを構成していければよいのではないかと伝えた。横山は指摘への感謝をしたうえで、「今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします」と述べた。

山田は、組織が合併したことで、他の団体に比べて複雑化していると述べた。だが、東京歯科大学歯学部との合併でも同様の問題が起こる可能性を指摘し、その際に大きく役立つので、着実に進めていきたいと伝えた。

(13) 文化団体連盟本部の所属団体処分移転資金についての議案

文化団体連盟本部三田本部常任委員会委員長 松尾和真より所属団体処分移転資金についての議案が

提出された。

担当者は、一昨年度の文連にて生じた用途不明の 71000 円について、全塾協議会で預かってもらっているが部室の備品費等で使用を希望する旨を伝えた。主な用途としては、コロナ対策を目的とした空気清浄機、メンテナンスのためのフィルター、部室内の椅子、書類の貼付に用いるホワイトボード、それに伴うホワイトボードクリーナーの購入である。コロナで交流できないため、懇親会をオンラインで開催したいと考えており、1500 円×12 名、ただし、残額でオンライン懇談会を開催する予定であるため、少し安価になる可能性も鑑みて、計 70486 円、残額 514 円である旨を報告した。

事務局長 岩館は、文化団体連盟本部に以前の処分で没収した資金について、21 年度に返却した場合の使用用途を報告していただいたとし、本議会では資金を移転するか議決を取る旨を全体に伝えた。

ここで塾生代表 山田から、宮館に対し、この用途不明の金額発生の経緯を説明するよう指示があった。岩館は、この資金に関して、発生原因は不明だが、当時の文化団体連盟 OB・OG によると、経緯は文化団体連盟本部で収支が合わなかったのが原因であると報告した。その収支の差分を今回の資金を使用して補填し、使用していなかったお金も含め没収したと述べた。山田は、全塾協議会の予算で 7 万ほどが書かれていたのは今回の理由であると説明し、今回の資金はカンパニア的な部分が大きく、交付金ではなく、文連本部の益になることを考えてもらったと述べた。

続けて山田より、ホワイトボードのペンは購入しないか質問が担当者になされた。担当者は、大まかに見積もり、不足していたと説明し、懇親会費から削減して購入する旨を伝えた。山田は、ホワイトボードはかなり良いものであり、ホワイトボード上に張り付けるシートもあること、購入することで長く使えることから、購入を前向きに検討してほしいと伝えた。

岩館はこの資金に関し、渡したままにしておくのも好ましくない為、12 月までに使用し、12 月の定例会までに報告してもらおうという形にした方が良いと提案した。担当者は、処分資金移転の有無と 12 月までの報告を併せて議決でよいか確認した。山田は、良いと回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(14) 選挙管理委員会の委員の任命に関する議案

横山さくら議員より、選挙管理委員会の委員の任命に関する議案が提出された。

担当者は、選挙管理委員の任命を事務局の方に依頼する旨を伝えた。塾生代表 山田は、担当者の説明に対し、委員の任命は選挙管理委員会規則第 6 条、委員長は特別委員会第 2 条に基づき行っている旨を補足した。質問は挙げられなかった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

事務局 後藤は、広報面などで議員の方はお力を貸していただきたいと伝えた。

ここで事務局長 岩館より、①選挙管理委員会の役職はただいま可決され、任命された委員で決めるか②予算についても今の委員で議論していくのか、という 2 点が質問された。

後藤は、①に関して、10 月期定例会で正式に決定したいと伝えた。また②に関しては、10 月期定例会の前にリーダーズキャンプを行っていただきたいと伝えた。それに対し、山田は、リーダーズキャンプ実施前に予算折衝協力をしていただきたい旨を伝えた。後藤は「こちらこそよろしくお願ひします。」と伝えた。事務局 関田大輝は、10 月の定例会 10/30 であるため、1,2 回修正をした上で、予算案を 10/23 までに提出するよう補足した。

(15) 選挙管理委員会の監査役に関する議案

横山さくら議員より、選挙管理委員会の監査役の任命に関する議案が提出された。

横山は、監査役として土肥諒紀を任命し、承認を得たい旨を伝えた。塾生代表 山田は、任命に関してやらなければならないことはあるか、事務局長 岩館に質問した。岩館は監査役に関しては質問事項はないという旨を伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。山田は、今回の監査役である土肥は事務局長であり、事前に伺っていたと述べた。

(16) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案

全塾協議会事務局より、所属団体に関する議案が上程された。

本件は、2021年3月21日、緊急事態宣言が発出され、対面活動も制限されていたにもかかわらず、卒業アルバム委員会総務局内の9名の構成員により、飲食を伴う引継ぎ作業会が行われ、さらにこの中で卒業アルバム購入者が同委員会に郵送した、個人情報を含む申し込みに関わる書類の選別活動も行われたことが発覚した問題について、調査結果を踏まえた処分議案である。

岩館は、卒業アルバム委員会について、先月の定例会で会食を伴う作業をしていた疑惑が高まったため、調査を行った旨を報告した。この件に関しては、委員長と総務局長の意見を真実として処理していると報告している。調査内容と結果は以下の通りである。

2021年9月4日、卒業アルバム委員会の委員長・総務局長と面談、事実の調査を実施した。卒業アルバム委員会は三田キャンパスに所属する4学部と通信課程の者を対象とする。本組織は放送研究会、カメラクラブ、慶應スポーツ新聞会から総務・財務・編集を選出され構成されている。それぞれの局で独立したLINEグループが作られており、そこで連絡をしていたという。

2021年3月21日、三田キャンパス近隣の飲食店にて引き継ぎ作業会が行われた。この作業に対し、対面の申請は学生部になされていなかった。引き継ぎのためのLINEグループがその時に新たに作成され、総務局内で作業会が調整された。監査人は、飲食をしつつ書類の引き継ぎをしていたことから、間違いなく団体の活動であるとの旨を述べている。一連の行動は学生部への申請なしでおこなわれた。このような行動は新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮が足りないと判断される。また、個人情報が書かれた書類が、ファミリーレストランという公共の場で行われていたのも問題であると考えられる。また、今回の活動は、総務局内でのみ行われ、委員長も把握しておらず、団体の構造再検討が必要と考えられる。

全塾協議会所属かつ慶應義塾大学公認団体として、規則に基づく行動がとられるべきである。また、公共の場で個人情報等の書類を取り扱ったものも遺憾である。これは全塾協議会規約38条に違反し、断じてその行為は認められるものではない。従って処分を行うべきだと考えた。かねてより全塾協議会は大学へ対面活動の再開を要請していたが、この行為は信頼を欠くものだと言える。そのため、今回の件は処分が必要であると考えた。処分を行うべきかどうかを議員に議決を取り、処分審査会の委員を任命していただきたい。

以上が本件の内容である。

議長の横山は、議会全体に対し、処分決定に反対の方はいるか問いかけた。塾生代表 山田は、処分がないという判断はまずないだろうという旨を全体に伝えた。横山は、反対がなさそうなので、処分審査会

の委員決定を山田に委ねた。

山田は処分審査会の委員について、文化団体連盟本部三田本部常任委員会委員長 松尾和真、体育会本部主幹代理 藤川友利、福利厚生機関本部代表代理 小畑采花、全国慶應学生会連盟常任委員会常任委員長 吉田凌太、四谷自治会 藤村悠哉、全塾ゼミナール委員会 増馬やよい、全塾協議会事務局 後藤 美汐の7名を任命した。

全塾協議会は処分の実施及び委員の任命を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。ここで岩館から、処分審査会会長も決定するよう促された。山田は会長を増馬やよいに任命し、全会一致で承認した。

==処分審査会==

処分審査会が終了し、議会在再開された。増馬は、処分に関して下記の通り処分を行うと決定した。

【処分】

1. 本件に関する顛末書及び始末書を 2021 年 10 月 11 日までに議会に対して書面にて提出することを義務付ける。
2. 活動状況等の各種情報共有を行うため、卒業アルバム委員会内に月例の全体会議を設けることを義務付ける。
3. 2022 年 4 月 30 日まで、毎月の全塾協議会定例会にて活動報告を行うことを義務付ける。
4. 2021 年 10 月 11 日から 2022 年 1 月 31 日まで、卒業アルバム委員会の構成員が対面での活動を行う場合は、事前に議会にその活動内容を書面にて提示し、議会の議決による許可を得ることを義務付ける。

これに対し、山田は、①は何時までに提出してもらうか ②は団体の性質上、何もやらない期間が存在するので、どういった対応をとるのか質問した。その点含め、処分内容を再度調整していただきたいという旨を述べた。その上で、①の日付について意見があれば述べてほしいとした。

岩館は、処分を決定してから 2 週間は当該団体は不服申し立てができるので、その事実を踏まえた日付を提示してほしいと全体に述べた。日付に関して、特に意見は上がらなかった。増馬は、特に意見もないことから、10/11 に日付を決定する旨を伝えた。

続けて増島より、②について藤川に対し、月次ミーティングはどの程度の長さが必要なのか質問した。

藤川は次年度（代表交代を区切りとする）終了までは、大事であると意見を述べた。処罰として全体会議を設けるのは極めて重要であり、いろいろな団体の構成員から構成されているため、次年度までは義務付けるべきだとした。

岩館は、内容の補足として、現状は3か月に1回であることを報告した。増馬は、今の話を踏まえ吉田に意見を求めた。吉田は、処分を行う意義として、ミーティングの内容を私たちに共有することが大事だと考えているため、ミーティングの内容共有も報告内容に含めてほしいと考えており、期間はそのままでもいいと述べた。

山田は、末端まで情報を伝達することが大事だと述べ、その必要性から全体会議を行うという方針を示したと補足した。

増馬は、処分内容などについて異議がある方は意見を述べるよう全体へ呼びかけたが、反対意見がなかったため、議決に移った。

処分審査会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。本審査会は閉会した。

(17) 塾生代表の2021年度全塾協議会予算

塾生代表 山田より、2021年度全塾協議会予算案が提出された。

山田は、リーダーズキャンプを経て、書類のように予算を決定した旨、また3分程度時間を設け、再度確認し、不備がないかを確認していただくよう出席者に求めた。

その後、内容に関する説明が山田からなされた。

山田は、予算案が監査の結果に必ずしも準じていない旨を述べた。リーダーズキャンプや監査などで減点が多くても、削る額が少額であったりするがなぜかという質問が議会内から出されたが、減点はあくまで参考であり、妥当性が一番大事である旨を述べた。減点が少ない団体は、財務管理体制は透明性があると言えるが、だからといってすべての額が通るわけではない旨、そのため必要性に応じ、認可している旨を報告した。

また、全塾協議会として一定額を支出していきたいと考えている旨を伝えた。一定額を交付金とすれば、全体としてかけるお金が少なくなる旨、従来に比べ、判断基準は厳しい可能性があるが、以上を踏まえ現在の形で運営している旨を報告した。また補足として、全団体に向け塾生代表所見を作成し、それを塾生への情報提供の根拠とする旨を報告した。

横山より、収入部門と支出部門の旧卒業アルバム委員会は何かと質問がなされた。これに対し、岩館は10年ほど前に卒業式の後に懇親会があり、卒業準備委員会が運営していた旨、また会場のホテルで参加された方が備品を壊しており、損害賠償の危険性から留意している旨を報告した。また、当該内容に関してその向こうが認知してから10年なので、この件に関して判断をするということはしていない旨を伝えた。横山は、今回の予算額も手付かずのままか質問した。岩館はそうだと伝えた。

関田は資料に関して、文化団体連盟様に本部がついてなかったのが、修正した旨を報告した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

山田は「皆さん、ありがとうございます」と述べた。

(18) 塾生代表の全塾協議会の基本政策に関する議案

塾生代表 山田より、全塾協議会の基本政策に関する議案が上程された。

山田は、議会参加者に協力の感謝を述べるとともに、情報の共有を兼ねて本件に関して述べる旨を伝えた。

一点目では、以前、日吉キャンパスの部室貸し出し業務等を行う、塾生会館運営委員会と同様の組織である運営委員会が存在したが、事実上消失している旨を述べ、改めて再興すべきという相談を受けている旨を報告した。運営委員会の組織形態はシンプルであり、継続性が不明なわけでもないのでもし加盟をする場合は、クラブハウス棟執行委員会等の組織は仮加盟を経ずに加盟をする可能性があるとした。加盟をする際は、追々議員の方へ共有するとの旨を述べた。塾生代表と事務局長の簡易的な話し合いにおいて仮加盟の仕組みの経緯を踏まえると、仮加盟は必要ないという意見で合致したと報告した。

二点目は資金の拠出場所の管理である。10月期に生理用品や防災用品の支出を図るが、その資金の拠出場所が揺らぐ可能性があるため、必要に応じて枠組みを改正していくとの旨を述べた。

三点目は塾生代表と事務局長の代理人案についてである。全塾協議会は定例会で議決し、その場には塾生代表と事務局長の参加が必須であるが、二人が動けなくなると不在のまま何もなせないということが発生しかねないというのが現状であると報告した。これは塾生代表選挙をしたとしても解消できない問題であり改善が必要だとした。年内または翌年1月期までに、事務局次官の制定や塾生代表の代行等を踏まえた仕組みづくりを検討中である旨を報告した。しかし、この仕組みは悪用の危険性があるため、その危険性を踏まえた仕組みづくりを現代表 山田の任期中に行いたいとした。

以上より、10月期定例会において、二点目の議案の検討に時間を要する旨、年内または翌年1月期を目途に三点目の検討を行う旨を報告した。全塾協議会たる仕組みとして連携をしていく必要があるため、体育会や全国慶應学生会連盟で取り組みを進めていくとした。

また、議員に向けて、全塾協議会にてイベントの告知などを積極的に進める旨を述べた。最後に、10月期定例会にて矢上祭に対する処分を検討している旨を伝え、今後の協力を求めた。

(19) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案

全塾協議会事務局より、所属団体に関する議案が上程された。

増馬は、卒業アルバム委員会の総務局でおこった今回のことに際して、処分内容を以下の通りとした。

- ① 本件に関する顛末書及び始末書を2021年10月11日までに議会に対して書面にて提出することを義務付ける。
- ② 活動状況等の各種情報共有を行うため、卒業アルバム委員会内に月例の全体会議を設けることを義務付ける。
- ③ 2022年4月30日まで、毎月の全塾協議会定例会にて活動報告を行うことを義務付ける。
- ④ 2021年10月11日から2022年1月31日まで、卒業アルバム委員会の構成員が対面での活動を行う場合は、事前に議会にその活動内容を書面にて提示し、議会の議決による許可を得ることを義務付ける。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

8. 連絡事項

議事部 在原拓哉より、次回の全塾協議会の日程は10/30(土) 18:30~実施であり、詳細はメールで伝達するとした。

9. 閉会宣言

事務局長 岩館則明が閉会を宣言し、21:14に閉会した。